

# 道徳学習指導案

筑波大学附属中学校 多田義男

3年1組 41名

1. 主題名 「生命の尊さ」  
関連項目 思いやり、感謝、家族愛、人間として生きる喜び
2. 資料名 「繋がる命」 新聞に掲載された両親の手記
3. ねらい 我が子の臓器を提供した両親の手記から、かけがえのない生命をいとおしみ、その尊さについて自ら考え、主体的に行動できる実践意欲と態度を育てる。
4. 他の教科などの関連 公民、理科、保健体育
5. 本時の展開

	学習活動と主な発問	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 2分	臓器移植についてどのくらい知っているかな？ ①対象となる臓器と主な病気 ②2010年7月に改正臓器移植法されたHPを紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドラマや映画で知っている</li> <li>・医学的に興味がある</li> <li>・これからは必要になることかもしれない</li> <li>・意思表示カードを知っている</li> </ul>	○関心があるが今まで自分のこととして、考えたことがない生徒が多いことをおさえ、簡単に「臓器移植」について説明する。
	脳死後と心停止 <a href="https://www.jotnw.or.jp/explanation/02/03/">https://www.jotnw.or.jp/explanation/02/03/</a>		
	改正2010 <a href="https://www.ncvc.go.jp/transplant/f001/">https://www.ncvc.go.jp/transplant/f001/</a>		
展開 43分	○教材を判読する ペアトーク ① <b>臓器移植を提供された患者の家族</b> ② <b>提供することになった家族それぞれの立場についてどのような思いでいるか</b> GIGA 端末に入力し共有する  発問1◎ <b>「Aちゃんが繋いだその命」 父はどのような思いなのだろう</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・。</li> <li>①・感謝する思いでいっぱいである</li> <li>・これからの命について大切にしよう</li> <li>・申し訳ないけどありがたい</li> <li>②・決断が正しかったのか</li> <li>・自分の子どもがまだ生きている</li> <li>・子どもに申し訳ない</li> <li>・Aちゃんはいなくなったけど、別の体で生きている。</li> <li>・自分の子どもが生きていると思いたい</li> <li>・苦渋の決断だったが、それによってAちゃんの大切な命が生きていると思いたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○2人で意見交換を行い、自分の考えを深める。</li> <li>○4人グループでグループグループトークを行う。教師の指示で①の立場、②の立場で考えさせる。</li> <li>○臓器移植制度の実態を踏まえ、両親の決断した気持ちをおさえる</li> <li>○生命は尊いものであり、ときには何かの犠牲の上に成</li> </ul>

	<p>発問2          私たちにとって「生きる」とは          どんなことだろう</p> <p>補助          「生命はときには何かの犠牲の上で          成り立っていること」についてどう          受け止めるかな</p> <p>活動2  <b>母の5行の手紙を読み          どのようなことを感じたか感想          を発表する。</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生きていることへの感謝</li> <li>・ 大切な時間を使っていくこと</li> <li>・ 何かを考えながら生活していく</li> <li>・ 簡単に答えられない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 両親の子どもを思う気持ちが伝わる</li> <li>・ 親は子どもを深く愛しているのだと思          った。</li> </ul>	<p>り立っているということをお          さえ、考えさせる。</p> <p>○一人一人の考えを深めさ          せ、主題につなげる。</p> <p>○母の思いをしっかり味わ          い、本時の感想につなげる。</p>
<p>終          末          5          分</p>	<p>本時の授業で気づいたことや          感じたことについて発表させ          る。</p>		<p>○生命尊重に価値づけ          を行い、思いを深め、幅          広く感想に対して評価          する。</p>

## 5. 評価

- ・ 生命の大切さに気づき、その尊さについて考える、グループや学級での話し合いに積極的に自らの意見を話し合い伝えることができた。
- ・ 生命の大切さを考え、そのためには何が大切なのを理解し、考えることができた。